

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	がじゅまるの家（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～	令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 7日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所での療育活動。 経験豊富な保育士によるムーブメント療法を行っています。 体を動かし、五感で色々な情報をキャッチすることで、「わかる」「できる」を達成すること。	定期的な研修を行い、日々の療育活動をより良いものにしていく取り組みをおこなっています。 親御様と日常で困っていることを共有し、日々の活動に活かしています。	今後も定期的な研修を行い、職員全員でお子様一人一人に合った療育活動をおこないます。
2	さまざまな場所で事業所外の活動をおこなっています。 障害の有無に関わらず、色々な活動にチャレンジします。	その日の体調の様子をみながら、こまめに親御様と連絡を取らせていただいています。 必ずその日の体調を確認し、お出かけをしています。	保護者の方との連携を密に行い、体調の変化に気をつけながらお子様に楽しい活動を提供してきます。
3	日々のケアで忙しい親御様が安心してご利用のできる事業所を目指しています。 親御様との連絡も連絡帳アプリを導入し、情報共有をおこなっています。	楽しく活動ができる場所だけではなく、安心してお預けできる場所でありたいと思っています。 親御様とお電話、LINE、連絡帳アプリを使い情報共有をこまめにおこなっています。	連絡のみではなく、送迎時にお話をして親御様と密にコミュニケーションを取り合います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な研修の際に、さまざまな議題をおこなっているが、同じ議題の研修を繰り返し復習として行う必要がある	色々な議題の研修をおこなっており、同じ議題の研修の振り返りが必要	研修後に振り返りを行うことで、内容が把握できているか確認ができるため、定期的な振り返りを行い、内容を密にしていく。
2			
3			